

2019年5月13日

各 位

会 社 名 ヤマト・インダストリー株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 杉浦 大助  
 (JASDAQ・コード7886)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部統括 茂木 久男  
 (TEL 03-3834-3111)

連結業績予想値と実績値との差異ならびに特別損失の発生に関するお知らせ

2019年2月12日に公表した2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の連結業績予想値と比較して、本日公表の実績値において差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

あわせて、特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異

(1) 連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	16,000	△60	△160	△200	円 銭 △199.04
実績(B)	16,044	△58	△147	△306	△305.25
増減額(B-A)	44	2	13	△106	—
増減率(%)	0.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	14,649	△88	△56	△141	△141.19

※平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

差異が生じた理由

売上高は、受注が順調に推移したことにより、前回予想を上回り、利益面では、営業利益、経常利益は、前回予想を上回りましたが、国内連結子会社において減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を大幅に下回ることとなりました。

2. 財務諸表の特別損失の計上について

国内子会社において、業績の進捗が当初計画を下回り、収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性などを総合的に検討した結果、2019年3月期の連結決算において110百万円の減損損失(株式会社ハイモールドの固定資産の減損損失)を特別損失に計上することとなりました。

以上